

学科 学年	S3	科目 分類	数学A I Mathematics A I	講義 必修	前期 2 単位	学習教育 目標 B	担当	佐藤志保 SATO Shiho
概 要	2 年次に学習した 1 変数の微分積分に続き、関数の級数展開および 2 変数の微分積分について扱う。							
科目目標 (到達目標)	関数の級数展開の意味を理解する。2 変数関数で極値問題が解けるようになる。							
教科書 器材等	微分と積分Ⅱ、同問題集(大日本図書)、高専の数学 3 問題集(森北出版)							
評価の基準と 方法	2 回の定期試験の平均と期末試験のよい方を評価点として採用する。ただし、試験範囲は試験のときまでに学習した範囲全てとする。							
関連科目	1 年、2 年次における数学A, B							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第 1 回		多項式による近似 (1)						
第 2 回		多項式による近似 (2)						
第 3 回		数列の極限						
第 4 回		級数						
第 5 回		べき級数とマクローリン展開						
第 6 回		オイラーの公式						
第 7 回		演習						
第 8 回		演習						
第 9 回		2 変数関数						
第 10 回		偏導関数						
第 11 回		接平面						
第 12 回		合成関数の微分法						
第 13 回		演習						
第 14 回		演習						
第 15 回	×	前期中間試験						
第 16 回		高次偏導関数						
第 17 回		多項式による近似						
第 18 回		極大・極小						
第 19 回		演習						
第 20 回		陰関数の微分法						
第 21 回		条件付極値問題						
第 22 回		演習						
第 23 回		演習						
第 24 回		包絡線						
第 25 回		演習						
第 26 回		演習						
第 27 回		2 重積分の定義						
第 28 回		2 重積分の計算						
第 29 回		演習						
第 30 回	×	前期期末試験						
オフィス アワー	授業、会議のない日の 17 時まで。							
授業アンケート への対応	ゆつくりと、はっきり話すように心がける。							
備 考	2 年次に学習し残した範囲については、時間内に補講を行う。							
更新履歴	2007. 3. 15 新規							